令和元年度　事業報告書

１．概　況

令和元年度は、これまで経験したことのない酷暑や、数多くの自然災害の発生など環境の変化をまざまざと感じざるを得ない年となりました。また、出生数がさらに減少し、少子高齢化の波は「人口減少社会」への不安を強めています。

国の存立が「一億総活躍社会の実現」にかかってきていることから、全国のシルバー人材センターへの期待も一層の高まりを見せています。

第四次経営計画（2018 年度～2020 年度）では、「センターの魅力度アップ・認知度向上」を基本方針として「会員の拡大と資質の向上」、「就業機会の拡大」、「安全就業の徹底」、「地域社会への貢献」などを経営目標としています。

元年度においても、派遣事業を軌道に乗せることや、会員の皆様の健康づくり、安全就業の推進、自主事業や地域班活動の活性化などについて、議論を進めながら、取り組んできました。

こうした取り組みを拡充し、継続していけるように、翌年度(令和 2 年度)からは 7%であった事務手数料を他センターと同様の 10%に引き上げることとし、経営基盤の強化を図れるようにしました。

派遣事業につきましては、民間事業所への派遣実績を着実に積み上げてきたほか、区役所や学校等での事務補助や、図書館や公共施設での業務補助などに令和 2 年 4 月から派遣できるようにと準備も進めてきました。更に派遣会員の就労体制を作るために、10 月には区内 4 か所で、初の取組みとなる「地域説明会」を開催したところ、119 名もの参加をいただきその半数以上の方がシルバー会員となられました。

こうした取組みにより、会員拡充も図られ、年度目標 1,720 人の達成も視野に入ってきたところでしたが、令和 2 年になって「新型コロナウイルス感染症」問題が突如発生し、世界的にも緊急の課題となりました。

当センターにおいても、各種講座や手作りショップなどの自主事業を早い段階から自粛した他、請け負っていた公共事業の中断などにより、経営環境に大きな影響が生じました。入会説明会なども安全対策に万全を期して休止していることから、「会員の拡大」、「就業機会の拡大」などの取組みは、先送りせざるを得ない状況となっています。

こうした厳しい状況で年度末を迎えることとなった令和元年度の各事業の実施結果につきまして、報告いたします。

２．周知活動の強化

(1) 普及啓発活動等実施状況

Ｐ　Ｒ　方　法	実　施　内　容	実施回数
会報の発行	広報紙「まあるい」の発行・全会員等に配付	4 回
機関紙の発行	「事務局だより」の発行・全会員配付	12 回
区広報の活用	「広報しんじゅく」に入会募集及び受講生募集等掲載	12 回
ホームページの活用	センター事業等の周知及び受注状況一覧を掲載	常時
ポスター掲示	ポスターを区施設・町会掲示板に掲示	随時
パンフレットの作成	シルバー事業全般に関する総合案内パンフレット及び単価表・会員募集チラシを増刷	2 回
リーフレット パンフレットの配布	イベント会場等でセンターのＰＲ、受注案内、会員募集の資料配布	随時
チラシ配布	手づくりショップ・ふれあい、らくらくリフォームウエア、パソコン教室、家事援助・お困りごと等チラシを配布	随時
就業開拓訪問活動	企業や町会等の地域関係者を訪問し、ＰＲ、受注案内を実施、一般家庭へポスティング実施：約 2 万部	43 事業所 197 町会等
ボランティアお便り	ボランティア事業（活動）の紹介　発行・全会員に配布	6 回
都バス車内広告	バス車内に会員募集広告を掲示（小滝橋営業所発、渋谷営業所新宿支所発、早稲田営業所発）	4～3 月
玄関前掲示板掲出	自主事業チラシ、作品掲出及びチラシ入れの活用	4～3 月
新聞折込み	地域説明会開催案内チラシを新宿区全域を対象に折込み　74,100 部	10 月 22 日

(2) イベントへの参加状況

項　　目	参加年月日	参　加　場　所
西早稲田リサイクルまつり	6 月 8 日	西早稲田リサイクル活動センター
落二地域センター開館記念	6 月 15 日、16 日	落合第二地域センター
ほおずき市	7 月 24 日、25 日	神楽坂商店街
シニアしごとＥＸＰＯ2019	10 月 11 日	新宿ＮＳビル
新宿区ふれあいフェスタ 2019	10 月 20 日	都立戸山公園
榎町地域センターまつり	10 月 27 日	榎町地域センター
若松ふれあいまつり	11 月 3 日	若松地域センター
アトムフェスタ	11 月 3 日	新宿リサイクル活動センター
牛込箪笥地域センターまつり	令和 2 年 1 月 19 日	牛込箪笥地域センター

※例年参加していた、落合第一地域センターまつり、四谷ふれあいまつりは、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、開催が中止となりました。

３．会員の拡大と資質の向上

(1) 令和２年３月 31 日現在の会員数は 1,686 人で、前年度に比べ 15 人、0.9%の増加でした。平均年齢は、男性 75.3 歳、女性 74.5 歳、全体では 75 歳で、全体としては高齢化が進んでいます。新たな取組みとして実施した「地域説明会」をきっかけとして、入会された方の平均年齢は 68 歳ですので、今後はこうした地域での説明会を定例化していくことが大切です。

主な入会経路は、チラシ・パンフレット等を見た 31.3%、区報等 25.9%、家族・知人経由 14.6%、会員経由 12.1%、その他 16.1%でした。

会員	元年度			30 年度			差　　引		
	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末
男(人)	109	123	976	126	98	990	△17	25	△14
女(人)	130	101	710	88	73	681	42	28	29
計(人)	239	224	1,686	214	171	1,671	25	53	15

(2) 会員の就業力の向上

区　分	研　　修　　内　　容	実施回数	受講者数
センター研修	新入会員研修(接遇力向上研修)	22 回	232 名
	家事援助調理研修	8 回	55 名
	家事援助接遇研修	2 回	28 名
	生活援助員研修（新宿区主催）	3 回	24 名
	高齢者見守り支え合い連絡会	6 回	19 名
第３ブロック合同研修 中野区・杉並区 板橋区・豊島区 練馬区・新宿区	代表理事等研修「独自事業の現状・課題について」	1 回	1 名
	理事等役員研修「食と健康について」	1 回	14 名
	安全就業研修「危険予知活動の推進等」	1 回	21 名
	会員研修「法令遵守・非行防止」	1 回	9 名

４．就業機会の拡大

全体としては微増となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、３月の入会説明会、就業相談会を中止いたしました。

(1) 就業実績

項　目	元年度	30 年度	差　引	増 減 率
年度末会員数(人)	1,686	1,671	15	0.9%
就業実人員（人）	1,269	1,243	26	2.1%
就業率（%）	75.3%	74.4%	0.9ﾎﾟｲﾝﾄ	

(2) 就業相談

入会説明会参加者は 268 名、登録した会員は 239 名で入会率は 89.2%でした。

相談会名	実施回数	参加者数
入会説明会	24 回	268 名
就業相談会	11 回	73 名
出張相談会（10 か所）	36 回	212 名

(3) 新たな就業への取り組み

令和元年度からシルバー派遣事業を開始し、新宿区より令和 2 年度からの「学校事務」、「図書館業務」の打診を受け、派遣就業の人材確保を図るため、「地域説明会」を区施設の 4 ヵ所で開催しました。地域の方々への周知方法は、区広報に掲載、地域説明会のチラシ作成・新聞折込み、町会掲示板・区設掲示板（101 ヵ所）に掲示。また「しおり」（宣伝用 QR コード入り）を作成し図書館、区施設等に配置しました。地域説明会の参加者は 119 名で、半数以上の方が会員登録となりました。

また、事務仕事の依頼に対応するため、事務仕事を希望する会員にパソコンスキルチェックを実施し、会員 86 名が参加。さらに学校事務の就業予定者に対してパソコンスキルアップフォロー研修を実施しました。

(4) 自主事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3 月中に開催予定であった自主事業を全て中止したことで、収入額の減少につながりました。

（単位：円）

項　　目	元年度	30 年度	差　引	増減率
パソコン教室	1,386,000	1,312,500	73,500	5.6%
書道教室	1,360,000	1,176,000	184,000	15.6%
手編み教室	489,000	546,000	△57,000	△10.4%
ここ・から英会話	1,808,784	2,123,489	△314,705	△14.8%
らくらくリフォームウエア	3,758,185	4,009,325	△251,140	△6.3%
手づくりショップ・ふれあい	1,674,915	1,703,440	△28,525	△1.7%
包丁研ぎ	65,710	58,830	6,880	11.7%
合　計	10,542,594	10,929,584	△386,990	△3.5%

(5) 事業実績

① 前年度と比べると、受託件数で 1.1%の減、契約金額で 0.2%の増でした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、令和２年３月の受注件数が前年比で約５％減少しました。

※受託件数は、1 契約で 12 ヶ月請求した数

事業別	受託件数（件）				契約金額（円）			
	元年度	30 年度	差引	増減率	元年度	30 年度	差引	増減率
公共事業	299	283	16	5.7%	312,473,608	308,473,308	4,000,300	1.3%
民間事業計	13,289	13,462	△173	△1.3	413,851,413	416,144,503	△2,293,090	△0.6%
企業	5,651	5,562	89	1.6%	314,880,761	311,090,460	3,790,301	1.2%
家庭	7,563	7,823	△260	△3.3%	88,428,058	94,124,459	△5,696,401	△6.0%
独自	75	77	△2	△2.6%	10,542,594	10,929,584	△386,990	△3.5%
合　計	13,588	13,745	△157	△1.1%	726,325,021	724,617,811	1,707,210	0.2%

② 家事援助・育児支援サービス事業は、前年度と比べると、受託件数で 9.1%の減、契約金額で 11.8%の減でした。

また生活援助サービス事業については、受託件数で 5.4%の増、契約金額で 8.7%の増でした。

	家事援助・育児支援サービス				生活援助サービス			
	元年度	30 年度	差引	増減率	元年度	30 年度	差引	増減率
受託件数（件）	3,152	3,467	△315	△9.1%	802	761	41	5.4%
就業実人員（人）	155	164	△9	△5.5%	56	56	0	0%
就業延人員（人）	14,393	16,143	△1,750	△10.8%	525	522	3	0.6%
契約金額（千円）	43,572	49,401	△5,829	△11.8%	5,060	4,655	405	8.7%

(6) 適正就業の促進

① シルバー人材センターにおける適正就業の徹底を図るため、適正就業ガイドラインに基づき、職員及び就業開拓専門員による仕事内容確認及び就業現場の巡回を行い、発注者や会員のセンター事業に対する理解促進に努めました。

② 公平な就業機会の提供のため、ローテーション就業やワークシェアリングを推進しました。

③ 令和元年度東京都最低賃金改正（985 円→1,013 円）に伴い、配分金単価を改定しました。

５．安全就業の徹底

(1) 安全就業活動実施状況

７月を「安全就業強化月間」と定め、安全大会を開催するとともに、安全就業パトロールを実施し、傷害事故、損害賠償事故の防止、また安全就業や会員の健康に関する講習会を開催するなど、安全就業活動を実施しました。

項目・テーマ	実施回数	講師等	実施場所等	参加者数
食品添加物実験講座	１回	消費者啓発員	シルバー人材センター	13 名

食品表示実験講座	1回	消費者啓発員	シルバー人材センター	18名
健康体操講習会 （シニアエアロビクス）	9回	ダイヤビック ひばり会	シルバー人材センター	89名
植木用機材の定期点検	12回	はしご等の 点検	シルバー人材センター	3名
安全就業だより発行	12回	事務局	全会員に配付	—
転倒事故予防冊子の作成	1回	事務局	全会員に配付	—
普通救命講習会	1回	東京防災救急 協会指導員	シルバー人材センター	17名
令和2年度安全就業標語 募集・選定	1回	安全委員会	「何事も　焦らず慌てず　油断せず」 「急ぐより　ルールを守り　危険予知」	応募者 14名 作品27点
安全大会の開催（事故報告・自転車安全運転の講話）	1回	牛込警察署員 他	新宿文化センター	127名

(2) 安全就業パトロール

安全委員会委員による安全就業パトロールを、新規契約先現場、パトロール未実施現場及び自転車整理指導業務の現場を中心に実施し、事故防止に努めました。

パトロールした46件で安全意識、服装・保護具、作業環境、作業用具等、共同作業、緊急時対応、健康管理の7項目の安全就業チェックを行った結果、今回もほとんどが「良い」に該当して、特に問題はありませんでした。

(3) シルバー保険

項　　目		元年度	３０年度	差　引
傷害事故　計		２０	１３	7
	就業中	１４	6	8
	就業途上	6	7	△１
損害賠償責任事故		1	5	△４
合　　計		２１	１８	3

６．地域社会への貢献活動

(1) ボランティア活動参加実人数は 271 名で前年度と比べると 15 名の減少、
参加延人数は 1,439 名で前年度と比べると 29 名の減少でした。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、3 月に実施予定であった東京マラソン防犯パトロールの一部、道路清掃(センター周辺・四谷・戸塚・落合第一・落合第二)、及びお手玉づくりが全て中止となったこと等が影響しています。

項　目	実施回数	参加者	備　考
ごみゼロ運動	11 回	80 名	春 7 地区・秋 4 地区
お手玉作り	10 回	50 名	―
防犯パトロール	18 回	129 名	小学校・公園周辺等
新宿シティハーフマラソン	1 回	27 名	沿道の案内及び･給水
ペットボトルキャップ収集ボランティア	随時	678 名	527,825 個
使用済み切手収集	随時	109 名	区社会福祉協議会へ寄付
センター周辺の道路清掃	10 回	64 名	ここ・から広場前 大久保通り歩道など
四谷地区地域班による 道路美化清掃	7 回	23 名	新宿通り沿い（四谷 1～2 丁目）の道路清掃
戸塚地区地域班による 道路美化清掃	5 回	35 名	高田馬場駅周辺道路清掃及び ポイ捨て防止路上喫煙禁止キャンペーン
落合第一地区地域班による 道路美化清掃	10 回	28 名	目白通り（下落合 3～4 丁目）の道路清掃
落合第二地区地域班による 道路美化清掃	11 回	132 名	落合第二特別出張所 周辺の道路清掃
ボランティア強化月間事業 ここ・からまつり防犯パトロール	1 回	9 名	ここから広場周辺の防犯 パトロール
ここ・からまつり お手玉体験ボランティア	1 回	6 名	ここから広場の多目的運動 広場で実施
新宿年末クリーン大作戦	1 回	8 名	新宿駅周辺の道路清掃
新宿打ち水大作戦	1 回	15 名	高田馬場駅前ロータリー
放置自転車 クリーンキャンペーン	1 回	11 名	高田馬場駅前ロータリー
ポイ捨て防止 路上喫煙禁止キャンペーン	5 回	35 名	高田馬場駅前ロータリー

(2) 第 9 回ここ・からまつり実施状況

実施日時	11 月 10 日（日）　午前 10 時～午後 3 時　晴れ
出展団体及び実施概要	4 委員会・6 自主事業・2 職群班・1 地域班・写真サークルによる、展示、相談、体験コーナー、無料体験コーナー、輪投げ、模擬店
参加者数	来場者約 3,300 名、会員・職員等 172 名

※ 第 9 回ここ・からまつりの焼きそば、お汁粉、喫茶コーナーの収益及び苔玉盆栽の寄付金は合わせて 95,427 円となり、新宿区社会福祉協議会に寄付しました。

７．組織基盤の強化

(1) 自主自立の組織運営

定時総会 （新宿文化センター大ホール）	6 月 20 日(木)	参加者 1,092 名

項 目	規模等
理事会	定例 12 回・臨時 3 回
理事及び監事推薦委員会	開催無し
総務委員会	3 回
事業委員会	9 回
広報委員会	7 回
社会参画委員会	7 回
安全委員会	10 回
家事援助・育児支援事業開拓分科会	3 回
自主事業運営分科会	5 回
世話役会議	1 回
班長会議	2 回

(2) 事務局機能の強化

① センター事業に関する情報収集と情報提供に努めました。
② 経費の節減及び効率的な経営に努めました。
③ 事務局長 1 名、次長 1 名、正規職員 8 名、嘱託職員 8 名、臨時職員 8 名。

事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」及び「定款第 40 条第 1 項第 2 号」に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人新宿区シルバー人材センター　会長　保　髙　健　彦